



自由の森学園高校 ⊕

(飯能市)

個性尊重 多彩な未来開く

471人で、高校からの入学者も多い。校舎近くに寮があり、北海道から沖縄までさまざまな出身地の136人の生徒たちが生活している。

自由の森学園高校は同中学校とともに1985年に開校し、間もなく30周年の節目を迎える。2014年度の生徒数は中学が178人、高校は

表現力や個性を重んじる校風もあり、ミュージシャンの星野源さん、タレントのユージさんら芸能関係に進んだ卒業生もいるなど、進路は多彩だ。卒業生2人に話を聞いた。

自分の内面見つめる



自作の版画を手にする蟹江さん(東京都荒川区南千住)

版画家

蟹江 杏さん 37

都内の高校に進学しましたが、校則になじめず、成績も落ちて退学しました。小さい頃から夢だった「絵描き」を真剣に目指そうと、絵を描く

ことを尊重してくれる高校の再受験を決めました。授業を受け、そのテーマで討論する形式の入学試験が魅力的で、元々は第一志望ではなかったのに、気がつけば「この学校に行きたい」と言っていました。

在学中は選択授業です。絵画を選び、授業後も絵の予備校で猛勉強する日々でした。中間・期末テストがない学校で楽だと思われがちですが、ある意味それ以上に厳しい。テストの点数で評価されないぶん、自分の個性で勝負しないといけない。才能あふれる友人が大勢いて、在学中はいつも焦っていました。

学ぶことの喜び知る

中央大文学部1年

八木田 好葉さん 20

行政や制度面からみた教育のあり方を学んでいます。

中学・高校の6年間、都内の自宅から約2時間かけて通いました。この学校を選んだのは、授業公開などに参加し、こんな授業を受けたいと思ったのがきっかけです。「憲法9条の内容を小学1年生に分かるように説明しよう」といった特徴的な授業が好きで、今でもノートはすべて大切に

分はどうしたいのかということとを真剣に考えさせられ、「絵描きになりたい」という思いを後押ししてくれたのが、この学校での学びでした。

卒業後は約一年半、ロンドンで版画を学びました。現在、個展などを開く傍ら、約2年半前から、東日本大震災で被災した福島県相馬市の子どもに絵などを教える「芸術家ボランティア」の派遣に携わっています。アトが人の心にとどこまで届くのか知りたいという思いで活動しています。

「テストがない学校なのになぜ勉強するの?」と浪人時代の友人に問われ、驚いたことがあります。点数や偏差値だけでない、学ぶことそのものの喜びを自由の森学園で学べたと思っています。高度な学習への挑戦で、生徒が真剣に取り組めば必ず力になる。そんな母校の教育の魅力を、卒業生として多くの人に伝えていきたいと思っています。

保管し、大学でレポートを書く時にも活用しています。この環境で学ぶうち、「理想の教育を追求したい」と思うようになり、大学受験を決

(自由の森学園高校は福益博士が担当しました)



在学中の思い出を語る八木田さん(自由の森学園で)

めました。指定校推薦も考えましたが、教育を学ぶのに普通のテストや受験を経験しないのは良くないのかもしれないと思います、1年間浪人して受験勉強に費やしました。

テストのない生活から一転し、1日10時間机に向かう生活が続きましたが、自由の森学園で一つのことを「深く深く」学んでいたものを、受験勉強で「広く浅く」学び直すところ、一つの出来事がつながっていくのが分かりました。